

# 水害に備えて

## 台風

台風とは、北西太平洋または南シナ海に発生した熱帯低気圧のうち、低気圧域内の最大風速(10分間平均)がおよそ17m/s以上のものをいいます。大きさは「強風域(風速15m/s以上の強い風が吹いているか、地形の影響などが無い場合に吹く可能性のある範囲)」の半径で、強さは「最大風速」で表されています。

### 〈台風のおおきさと階級分け〉

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

(気象庁による)

### 〈台風の強さと階級分け〉

階級	最大風速
強い	33m/s以上～44m/s未満
非常に強い	44m/s以上～54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

(気象庁による)

## 集中豪雨

集中豪雨は、狭い範囲に大量の雨が降る現象です。中小河川の氾濫や土砂災害による被害が予想されます。

### 〈雨の強さと降り方〉

1時間雨量(mm)	雨の降り方
10以上～20未満	ザーザーと降る。雨の音で話し声が良く聞き取れない。
20以上～30未満	どしゃ降り。傘をさしていてもぬれる。側溝や下水、小さな川があふれる。
30以上～50未満	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。
50以上～80未満	滝のように降る。傘は全く役に立たなくなる。車の運転は危険。
80以上～	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

(気象庁による)

## 避難情報と具体的な行動内容

警戒レベル	区・気象庁からの避難・気象情報	とるべき行動
警戒レベル5	緊急安全確保 ※1	命の危険直ちに安全確保!
〈警戒レベル4までに必ず避難!〉		
警戒レベル4	避難指示	危険な場所から全員避難
警戒レベル3	高齢者等避難 ※2	危険な場所から高齢者等は避難
警戒レベル2	大雨・洪水・高潮注意報	自らの避難行動を確認する
警戒レベル1	早期注意情報	災害への心構えを高める

高  
緊  
急  
の  
度  
合

自ら行動をとる際の判断に参考となる情報(洪水、土砂災害等)  
区が発令  
気象庁が発表

※1 自治体が災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

## 避難時の心得

区から避難指示等があった場合には、水害時・土砂災害時の避難所に立ち退き避難しましょう。なお、避難所への避難が困難な場合、または、雨の降り方や浸水状況により身の危険を感じた場合には、近くの頑丈な2階建て以上の建物や垂直避難場所へ自主的に避難するか、家の中でより安全な場所(崖から離れた部屋や2階など)に避難しましょう。

### ●正確な情報収集

テレビ、ラジオ、インターネットなどで最新の気象情報、避難情報等を収集し、雨や浸水の状況に注意してください。危険を感じたら自主的に避難しましょう。

### ●避難の呼びかけに注意

危険が迫ったときには、防災行政無線、緊急速報メール、SNSなどにより、避難の呼びかけを行いますので、速やかに避難してください。

### ●要配慮者の避難にご協力を

高齢者・障害者等の要配慮者は早めの避難が必要です。要配慮者の近所にお住まいの方は避難にご協力ください。

### ●車での避難は控えて

自動車での避難は緊急車両の妨げになります。また、交通渋滞を招き、浸水すると動けなくなるため、特別な場合を除きやめましょう。

### ●動きやすい服装、二人以上の避難

動きやすい服装(カッパやスニーカー等)で、浸水部分の深さが確認できる杖や棒を持って歩きましょう。浸水時に歩行可能な水位の目安はひざ下までです。また、隣人等と声を掛け合って、二人以上で避難しましょう。

## 都市型水害

都市型水害とは、舗装に覆われた都市部で起こる水害で、集中豪雨などで河川や下水の排水処理能力を超える雨が降ると、水が低い場所に集まり、短時間のうちに浸水が起こることをいいます。

## 注意報・警報発表基準

注意報	大雨	表面雨量指数*1	12
	洪水	流域雨量指数*2	22.1
	強風	平均風速	13m/s
警報	大雨	表面雨量指数	18
	洪水	流域雨量指数	—
	暴風	平均風速	25m/s

\*1 地面の被覆状況や地質、地形勾配などを考慮して、降った雨が地表面にどれだけ溜まっているかを数値化したもの。

\*2 河川の上流域に降った雨水が地表面や地中を通して河川に流れ出し、河川に沿って流れ下る量を数値化したもの。

各指標の詳細については、気象庁ホームページをご覧ください。

(気象庁による)

## 特別警報発表基準

警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に気象庁が「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼びかけます。

大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合

※表中の数十年に一度の現象に相当する降水量の指標は、気象庁ホームページで公表しています。(気象庁による)

## 防災情報・気象情報を入手する方法

区内の降雨量および神田川の水位を観測し、以下の方法で最新の雨量、水位情報、気象情報等を提供しています。

●文京区水防災監視システムホームページ(神田川水位情報等)	⇒	●文京区防災気象情報発信サイト	⇒
●気象庁ホームページ	⇒	●東京アメッシュ(東京都下水道局:降雨レーダー)	⇒
●東京都水防災総合情報システム(飯田橋)	⇒		

文京区公式ホームページ	文京区公式X(旧ツイッター)・フェイスブック・LINE 区の公式X(旧ツイッター)やフェイスブック、LINEで災害情報等をお知らせします。 X(旧ツイッター)「@bunkyo_tokyo」 フェイスブック「@bunkyo.tokyo」	緊急速報メール(エリアメール) 携帯電話事業者のNTTドコモ、au、SoftBank等と協力し、区のエリア内の該当携帯電話に対して、災害情報等を配信します。
-------------	--	---

文京区民チャンネル(CATV) 文京区民チャンネルで、災害情報等をお知らせします。 ※11チャンネルで見られます(ケーブルテレビ加入者)。	区民の皆さん	Lアラート NHKデータ放送を活用し、テレビから災害情報等をお知らせします。 ※1チャンネルからリモコンdボタンを押すと見られます。
---	--------	--

防災行政無線 屋外スピーカー 災害情報等を音声やサイレンでお知らせします。24時間以内に放送した内容は「電話応答システム」で確認できます。	区民の皆さん	Yahoo!防災速報 ヤフー株式会社と協力し、スマートフォンのアプリを通じて災害情報等を配信します。 iPhone版 Android版
---	--------	--

ふみみか 「文の京」安心・防災メール 登録者に文京区内の災害情報等をお知らせします。	区民の皆さん	防災ポータル 避難情報、避難所開設情報、被害情報等をお知らせします。	防災アプリ スマートフォンやタブレット端末で災害情報等を確認できるアプリです。 App Store (iPhone/Android) Google Play (Android)
--	--------	---------------------------------------	---

## 水害時・土砂災害時の避難所一覧

	避難所名	所在地	電話番号
1	林町小学校	千石2丁目36番3号	03-3946-0421
2	青柳小学校	大塚5丁目40番18号	03-3947-2471
3	小日向台町小学校	小日向2丁目3番8号	03-3947-2371
4	湯島小学校	湯島2丁目28番14号	03-3813-6061
5	誠之小学校	西片2丁目14番6号	03-3811-7171
6	第一中学校	小石川5丁目8番9号	03-3811-7271
7	第三中学校	春日1丁目9番31号	03-3814-2544
8	第六中学校	向丘1丁目2番2号	03-3814-6666
9	文林中学校	千駄木5丁目25番10号	03-3827-7671
10	茗台中学校	春日2丁目9番5号	03-3811-2969
11	本郷台中学校	本郷2丁目38番23号	03-3811-2571
12	音羽中学校	大塚1丁目9番24号	03-3947-2771
13	目白交差点館(目白台総合センター内)	目白台3丁目18番7号	03-5395-9141

※地震時の避難所とは異なる場合がありますので注意してください。

※区外の避難所(緊急避難所)には、「特別区災害時相互協力および相互支援に関する協定」に基づき避難が可能です。

※関口一丁目地区の各町会は、大雨等により神田川を越えて避難所へ行くことが難しい場合、新宿区復興地域センター、新宿区立牛込第一中学校、新宿区立牛込第二中学校に避難することができます。

### ●垂直避難場所

垂直避難場所とは、風水害時において、指定された避難所への避難が困難な場合、または雨の降り方や浸水状況により身の危険を感じた場合の緊急的な避難場所のことです。

※垂直避難場所一覧は、区ホームページをご確認ください。



## 日頃からの水害対策

### 自宅周りの確認事項

台風や豪雨の到来は予測できるからと安易に考えてはいけません。油断せず日頃から十分な対策を立てておきましょう。

ベランダ  
鉢植えや物干し竿など飛ばされる危険がある物は室内へ。

窓ガラス  
ひび割れ、窓枠のガタツキはないか。

外壁  
壁に亀裂はないか。

側溝・雨水ます  
ごみ・土砂や落葉をとり除き、ふみ板等を置かないで雨水が流れるようにしておく。

地下駐車場  
土のう、止水板を準備しておく。

## 緊急時の連絡先

名称	電話番号
文京区役所(代表)	03-3812-7111
事件・事故の場合	110
富坂警察署	03-3817-0110
大塚警察署	03-3941-0110
本富士警察署	03-3818-0110
駒込警察署	03-3944-0110
火災・救助・救急の場合	119
小石川消防署	03-3812-0119
本郷消防署	03-3815-0119
NTT東日本(電話の故障)	一般電話からの場合 113 携帯電話からの場合 0120-444-113
東京電力パワーグリッド株式会社 東京カスタマーセンター	0120-995-006
東京ガス株式会社 お客様センター	0570-002-211 (03-3344-9100)
東京都水道局文京営業所	03-5840-8021
東京都下水道局 北部下水道事務所文京出張所	03-5976-2516

### 日頃からの備え

#### ●安全な避難路の確保

避難所までの経路(避難路)は、あらかじめ決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

#### ●非常持ち出し品の事前準備

ラジオ、懐中電灯、食糧、飲料水などは事前に用意し、避難するときに持参しましょう。

#### ●正確な情報収集

テレビ、ラジオ、インターネット、「文の京」安心・防災メール等からの水防情報、気象情報に十分注意しましょう。

### 地下施設への浸水に備える

日頃から排水設備(ポンプ)の点検や、土のう、止水板を準備しておきましょう。また、あらかじめ土のうを用意したい方には貸与します。

なお、区内各所に土のう置場を設置していますので、緊急の場合にはご自由にご利用ください。

問合せ先 土木部道路課 ☎03-5803-1250

